



「ドッグラン」設置の要望書を当協会から芦屋市当局に提出してありましたところ11月21日付で市長からの回答がありました。その内容は右のとおりです。

「ドッグラン」の設置については、犬好きの間でも意見は様々で賛否両論色々あるようです。いずれにしても(ドッグランの有る無しに関わらず)他人に対する配慮に欠けた飼い主さんのマナーの向上と犬の躰が必要不可欠であるのは確かなことでしょう。犬をノーリードで自由に放すことの出来る広い土地さえあれば、それで全てが解決するわけではないことを私達は十分に理解して、これからの犬との暮らしを考えていかねばならないと思います。

「ドッグラン」設置の要望について(回答) 抜粋

芦屋市長 山中 健

近年、犬を飼う人が増え、市内の公園や芦屋川の河川敷等で犬を散歩させる姿をよく見かけます。愛犬家の皆さんにとって、「犬を自由に力いっぱい走り回らせてやりたい」という気持ちはよく分りますが今のところ市内にはそういった施設がありません。ドッグランを設置することにつきましては、以前から議会等でも取り上げられておりますが、様々な問題があるため、未だ実現の目途が立っておりません。

ご要望の総合公園は、市内で最も広い公園ですが、ドッグランを設置するためには、安全上・衛生上の問題から、一般利用者とドッグランコーナーをフェンス等で仕切る必要があります。かなり広い場所を占有することになります。さらに、犬の糞尿や鳴き声等、公園の一般利用者や近隣住民への影響も避けられません。そのようなことから、比較的民家に近い市街地の公園ではドッグランの施設を設置することは現状では困難と考えますので、ご理解賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

猫家族が選んだモデルハウス

某住宅メーカーのモデルハウスに勤務している私が猫の家族と出会ったのは、お盆休み前のことでした。庭の植栽に水やりをしていた時、なんと!物陰でお母さん猫が仔猫を産んで育てている現場を発見してしまったのです!この母猫はおそらく元飼い猫だったのでしょうか、神経質になるはずの出産直後なのに…初めて会う私達にもすぐく親しげにすり寄って来ました。迷子猫で警察等へ届けを出しても、元の飼い主さんの情報はありません。妊娠したために捨てられてしまったのでしょうか。今までどこでどうやって暮らしていたのでしょうか。とにかく!今は授乳中で栄養をつけないといけない大事な時。情にほだされた店長が「このまま放っておくと親子共々死んでしまう!」と猛ダッシュでキャットフードを買いに行き、会社でのエサやりの日々が始まりました。



その後、安心して子育てに専念出来るもっと良い場所が他に見つかったのか(まさか住宅メーカーのハシゴをしているわけではあるまいね…)仔猫の姿は見えなくなって母猫だけがひとりでエサを食べに通って来ていたのですが、しばらくするとヨチヨチ歩けるようになった小さな仔猫3匹を引き連れて、またうちのモデルハウスに引っ越して来ました。仔猫たちがちょこちょこ遊ぶ姿はとても可愛くて、仕事の合間にそんな親子の様子を眺めては癒されまくりの楽しい毎日が続きました。

でも、このまま会社で野良猫を飼い続けるわけにはいきません。ここらでなんとかしなければ…!!元々猫を飼った経験がありますので、母猫は私が引き取って飼おうかと考えましたが、仔猫3匹まで一緒にはとても無理!そこで、芦屋動物愛護協会に連絡して相談しました。その結果、母猫とキジの仔猫1匹を私が自宅で飼うことにして、白キジと白黒の2匹については、協会に預けて里親探しをして頂くことになりました。(2匹とも無事に譲渡先が決まったという嬉しいニュースも頂きました!本当に良かったです!)

不思議なご縁で我が家の一員となった親子猫ですが、仕事のストレスもふっ飛ばしてくれるこの子たちには「この家に来て幸せ♪」と思ってもらえるよう、これから10数年の歳月を一緒に楽しく暮らしていこうと思っています。今回お世話になった芦屋動物愛護協会の皆さん、本当にありがとうございました。

S.Y.